



平成 21 年 11 月 4 日

報道各位

日本CM界 最大のイベント
ACC CM FESTIVAL 贈賞式開催
総務大臣賞／ACC グランプリは
テレビ CM 部門 サントリー／BOSS 宇宙人ジョーンズのシリーズ CM
ラジオ CM 部門 パナソニック／ナイトスチーマー「寝ても覚めても」

社団法人 全日本シーエム放送連盟

社団法人 全日本シーエム放送連盟（略称 ACC：東京都港区、理事長：永田 圭司）では、今年で 49 回目を迎える ACC CM フェスティバル（正式名称：「2009 49th ACC CM FESTIVAL」）の贈賞式と記念パーティを 11 月 4 日（水）にザ・プリンス パークタワー東京で開催、1,000 名を超える受賞者・CM 関係者が集まり盛大に挙行いたしました。

今年度、最高賞である総務大臣賞／ACC グランプリには、テレビ CM 部門でサントリーホールディングス・BOSS のシリーズ CM（宇宙人ジョーンズ「地上の星」「屋台」「知事」「刑事」）、ラジオ CM 部門でパナソニック・ナイトスチーマーの「寝ても覚めても」が輝き、内藤正光総務副大臣から総務大臣賞、また佐々木 宏審査委員長から ACC グランプリが贈賞されました。また、今回新しい試みとして、ゴールド以上の贈賞はテレビ CM 部門では第 10 位から、ラジオ CM 部門は第 3 位からランキングで発表され、会場は大いに盛り上がりました。（※総務大臣賞／ACC グランプリ及びランキングについては別紙 1 をご参照ください）

この ACC CM フェスティバル贈賞式は、わが国 CM 界最大のイベントとして知られており、審査委員長の佐々木 宏氏より審査経過報告が行われた後、全応募数 2,375 点（内訳 テレビ：1,675 作品 ラジオ：700 作品）の中から選ばれたテレビとラジオの各賞の贈賞が行われました。総務大臣賞の贈賞の後、総務副大臣より総務大臣祝辞が代読され、これを受け、受賞者を代表してサントリー食品株式会社・常務取締役の齋藤和弘氏と、パナソニック株式会社・アプライアンス・ウェルネスマーケティング本部本部長の石井 純氏より受賞のご挨拶がありました。

一方、新聞社・通信社 12 社の学芸部・文化部・文化社会部の部長等で構成される選考委員によって選ばれる「ジャーナリスト賞」では、テレビ部門にテレビ埼玉の企業シリーズ CM「チャンネルはそのまま」、ラジオ部門にパナソニック株式会社企業 CM「欲しいものがいっぱいあった」が選ばれ、今年度選考委員長の木俣 自明氏（報知新聞東京本社スポーツ報知編集局文化社会部部長）より、それぞれ贈賞が行われました。

また、「CM における優秀な演技」に対して贈られるベスト演技を受賞した役所広司さん（ダイワハウス）、木村カエラさん（ホットペッパー、NEW クレラップ）、加藤清史郎さん（オールドヨタこども店長）には記念パーティでご登場いただき、会場を盛り上げていただきました。（※他の演技賞受賞者は別紙 2 をご参照ください）



また、記念パーティでは、CM界に顕著な貢献をした個人を顕彰する「鈴木 CM 賞」の贈賞があり、孫 正義氏（株式会社ソフトバンク 代表取締役社長兼 CEO）に同賞が贈られました。

今回入賞した作品は、今年度 ACC CM フェスティバル入賞作品発表会として、11月11日（水）午後1時から東京・有楽町朝日ホール（マリオン）で開催される東京地区発表会を皮切りに、全国で上映・公開されます。（詳細は別紙ニュースリリースをご覧ください）

【全日本シーエム放送連盟（ACC）と ACC CM FESTIVAL について】

社団法人全日本シーエム放送連盟（ACC）は、よりよいCMの提供に寄与し、国民生活の向上と放送文化の健全な発展に資することを目的に、広告主、広告会社、制作会社、放送会社の4団体のメンバーが集まって1960年に発足しました。ACC CM FESTIVAL は、その翌年から開催され、わが国のテレビ・ラジオCMのコンクールとして最も規模が大きく、歴史が古く、最も権威のあるCMコンクールとして知られています。

49回目を迎えた今年のACC CM FESTIVALでは、合計2,375点（内訳 テレビ：1,675作品 ラジオ：700作品）の応募があり、これらの中から審査委員会（委員長・佐々木 宏氏）の審査を経て総務大臣賞／ACC グランプリをはじめ ACC ゴールド・シルバー・ブロンズ、特別賞等の各賞が選出されました。

また、ジャーナリスト賞は「最も時代性・社会性を反映し影響力のあった作品を、ジャーナリストの立場から選考・顕彰する」ことを目的に2000年度より創設。選考委員は朝日新聞・産経新聞・東京新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞の一般紙、共同通信・時事通信の通信社、サンケイスポーツ・スポーツニッポン・スポーツ報知・日刊スポーツのスポーツ紙の計12社の学芸部・文化部・文化社会部の部長等が選考委員を務めます。今年度の選考委員長は木俣 自明氏（報知新聞東京本社スポーツ報知編集局文化社会部部长）が務めました。

以 上

この件に関するお問い合わせ先

（社）全日本シーエム放送連盟（ACC）

〒105-0004 東京都港区新橋3-1-11 長友ランディックビル5F

TEL：03-3500-3261 FAX：03-3500-3263

ホームページ <http://www.acc-cm.or.jp>

担当：江川・小原



※参考資料

【今年度 ACC CM FESTIVAL 概要】

名 称 : 「2009 49th ACC CM FESTIVAL」
全国から応募された 2,375 点 (内訳 テレビ 1,675 作品・ラジオ 700 作品) の CM 作品の中から 182 作品及び地域ファイナリスト 171 作品が入賞。テレビ CM ベスト 10・ラジオ CM ベスト 3 が決まりました。

審査対象 : 2008 年 7 月 1 日から 2009 年 6 月 30 日までに日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたテレビ・ラジオ CM

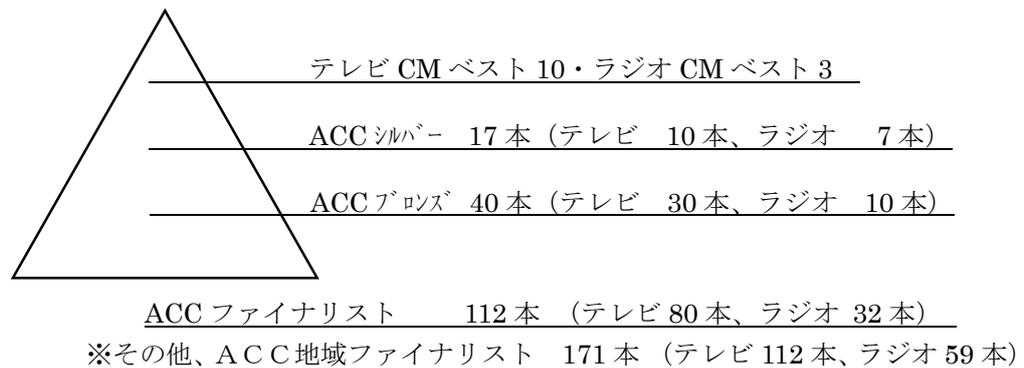
地域審査会 : 8 月上旬に全国 7 地区で審査

全国審査会 : 9 月 3~4 日、10~11 日

贈賞式・記念パーティ : 11 月 4 日 ザ・プリンス パークタワー東京
*贈賞式席上にて、総務大臣賞/ACC グランプリをはじめテレビ CM ベスト 10・ラジオ CM ベスト 3 のランキング、ジャーナリスト賞を
発表

入賞作品発表会 : 11 月 11 日東京・有楽町朝日ホールを皮切りに、全国 30 ヶ所にて順次開催
されます。

【入賞作品 (182 本) の内訳】 *入賞作品は全応募数 (2,375 本) の約 7.7%





【2009 49th ACC CM FESTIVAL 審査員メンバー】(敬称略、順不同)

審査委員長

佐々木 宏

<プロフィール>シンガタ クリエイティブ・ディレクター

1977年電通入社。2003年「シンガタ」設立。仕事はSoftBankの全キャンペーン。SUNTORY BOSSを18年、JR東海「そうだ、京都 行こう。」を10年、江崎グリコ「OTONAGLICO」等

テレビチーム審査員

小田桐	昭	堀井	博次	宮崎	晋
坂田	耕	岡	康道	多田	琢
澤本	嘉光	大貫	卓也	中治	信博
児島	令子	白土	謙二	箭内	道彦
黒須	美彦	福里	真一	古川	裕也
森本	千絵	永見	浩之	谷山	雅計
中島	信也				

ラジオチーム審査員

林屋	創一	福本	ゆみ	中山	佐知子
安西	俊夫	井田	万樹子		

特別審査員

茂木 健一郎 脳科学者

NHK「プロフェッショナル」キャスター。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。「クオリア」をキーワードとして脳と心の関係を研究。

天野 祐吉 コラムニスト

TBS「NEWS23」にコメンテーターとして出演。元「広告批評」編集長。朝日新聞に「CM 天気図」連載中。著書に「広告論講義」「ぼくのおじいちゃんのかお」等。

小山 薫堂 放送作家

「料理の鉄人」「THE 世界遺産」などを手がけ、初の映画脚本作品「おくりびと」が第81回アカデミー賞外国語部門賞を獲得。

佐藤 可士和 アートディレクター

主な仕事に SMAP、NTT ドコモ、ユニクロ、UT STORE HARAJUKU、国立新美術館等。著書に「佐藤可士和の超整理術」(日本経済新聞出版社)。

齋藤 孝 明治大学文学部教授

NTV「世界一受けたい授業」、TBS「情報7days ニュースキャスター」に出演。著書に「声に出して読みたい日本語」等、多数。



【受賞理由 総務大臣賞／ACC グランプリ】 審査委員長 佐々木 宏 氏

テレビ CM 部門 広告主：サントリーホールディングス
商品名／タイトル：BOSS／宇宙人ジョーンズ
「地上の星」「屋台」「知事」「刑事」

受賞理由 サントリーボスの宇宙人ジョーンズは、3年半続く人気シリーズですが、息切れすることなく、いぶし銀の魅力に磨きがかかり、予選から常に第1位を維持し、最終決戦でも国内賞のグランプリを独占の勢いだったOTONA GLICOのサザエさん家と、今年のカンヌで金賞受賞、一般参加のWEB広告を集大成させた超意欲作サガミオリジナル、などの挑戦をしりぞけて、圧倒的大差をつけて、貫禄を見せました。

ラジオ CM 部門 広告主：パナソニック株式会社
商品名／タイトル：ナイトスチーマー「寝ても覚めても」

受賞理由 ラジオの1等賞は、パナソニックのナイトスチーマー。不思議なトーンが、支配する120秒で、少しずつ、穏やかな支持を広げていきました。「寝ても覚めても～って、本当のことだと知りました」と夢見心地にさせておいて、「夜の間、あなたはただ、恋をしていればいい。」というコピーが、目が覚めるような商品への見事な殺し文句になっていて、秀逸。



【受賞理由 ジャーナリスト賞】

選考委員長 木俣 自明氏（報知新聞東京本社スポーツ報知編集局文化社会部部长）

テレビ CM 部門 広告主：株式会社テレビ埼玉
商品名／タイトル：企業ブランド広告／チャンネルはそのまま
「園芸」「ゴキブリ」「工作」

受賞理由 大手企業の渾身のCMなどをおさえて、シンプルな作りのテレビ埼玉が受賞した。視聴者にチャンネルを変えさせないというメッセージをコント仕立てにしたものだが、経営の厳しい地方テレビ局の必死の姿勢、生き残りへの決意のようなものが伝わってくるとの評もあり、厳しい社会情勢を反映したサプライズ受賞だった。

ラジオ CM 部門 広告主：パナソニック株式会社
商品名／タイトル：企業 CM 「欲しいものがいっぱいあった」

受賞理由 音だけで表現する媒体だけに、例年、笑いを主眼にするナンセンスな作品が多かったが、今年度は、思わず笑わせられてしまう作品が少なく世相を感じさせた。受賞作のパナソニックは、自社の過去の CM の音源をダイジェストにして、ナショナル・ブランドの消滅を告げる、老舗企業ならではの大作。見事の一言に尽きる力作だった。

【ジャーナリスト賞】

わが国において放送されたテレビおよびラジオの商業（CM）の中から、最も時代性・社会性を反映し影響力のあった作品を、ジャーナリストの立場から選考・顕彰することによって、国民生活の一層の向上と放送文化の健全な発展に資することを目的に 2000 年度より新設。今年で 10 回目を迎えました。選考委員は朝日新聞・産経新聞・東京新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞の一般紙、共同通信・時事通信の通信社、サンケイスポーツ・スポーツニッポン・スポーツ報知・日刊スポーツのスポーツ紙の計 12 社の学芸部・文化部・文化社会部の部長等が務めます。今年度の選考委員長は木俣 自明氏（報知新聞東京本社スポーツ報知編集局文化社会部部长）でした。